

イベントタイプ：花木等鑑賞

一般参加：可



「田園風景とあじさいのコントラスト」

毎年6月に町北部の「あじさいの里」で開催します。田園地帯の水路沿いには、5000株もの色とりどりのあじさいが咲きそろいます。雄大な富士と箱根の山々を背景に、田植え直後の緑色に染まった田園風景と虹色に咲き誇るあじさいのコントラストが見事な眺めです。

「あじさいまつり」の期間中にはさまざまなイベントを開催し、県内外から20万人以上の観光客が訪れます。

○ アクセス

（公共交通機関）・小田急線開成駅より徒歩40分～50分、まつり期間中シャトルバス（有料）10分／小田急線新松田駅・JR松田駅より徒歩25分、又は箱根登山バス関本行き（7分～8分）吉田神社入口下車徒歩1分

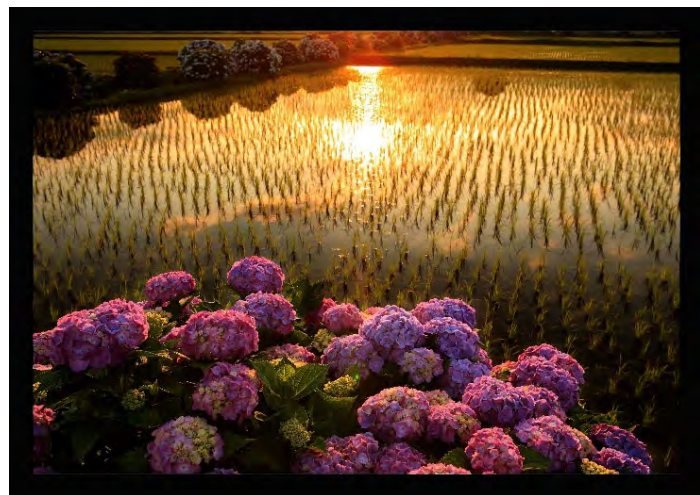
（自動車）東名高速道路、大井松田インターチェンジより南足柄方面出口から5分

○ 問合せ先

開成町都市経済部産業振興課

☎ 0465-84-0317

○ 参考URL：<https://kaisei-ajisai.com>



「夕日に映えるあじさい」



「開成水辺スポーツ公園」

- ・開催時期：6月上旬～6月中旬の9日間
- ・開催場所：開成町あじさいの里
岡野あじさいの里
あしがり郷瀬戸屋敷
（住所：開成町金井島1421番地）

開成水辺スポーツ公園

酒匂川のほとりにある総合スポーツ公園で、関東で最初のコースが設けられたパークゴルフをはじめ、サッカー、野球、ソフトボールなど多目的に利用でき、季節ごとの美しい草花も楽しめます。

イベントタイプ：田んぼアート

一般参加：可



2020年

「作品名：国中平野にトキと佐渡金山」



2019年

「作品名：朱鷺と暮らす郷×けものフレンズ」



2018年

「作品名：佐渡から世界へ」



2017年

「作品名：トキと暮らす郷 10th」



「田植えの様子」

朱鷺と暮らす郷田んぼアートは、佐渡の田んぼが人々の
 拠りどころとなる場作りの一環として、2017年から始まっ
 た取組です。アートデザインは、色がついた6色の苗を
 使ってトキや佐渡の風景、キャラクターなどをデザインし
 ます。2021年のデザインは一般公募しました。

見頃は7月からで、その後も趣きの変化を楽しめます。
 毎年1万人余りの来訪者が見学に訪れています。

○アクセス

- ・新潟交通佐渡「両津港佐渡汽船」2番のりば
からバスで15分「青木」下車
- ・両津港から車で25分

○問合せ先 佐渡市農業政策課里山振興係
 ☎ 0259-63-5117

○参考URL：<https://www.city.sado.niigata.jp/site/sato/>

- ・開催時期：5月～10月
見頃は、7月上旬～8月
中旬
- ・開催場所：佐渡市新穂地
区（住所：佐渡市新穂青木
1101番地）

周辺情報

- ・トキの森公園は、佐渡の中央部に広がる国中平野の新穂地区に位置し、「トキ資料展示館」、「トキふれあいプラザ」があります。「トキ資料展示館」には、保護増殖、野生復帰などの資料を多数展示。「トキふれあいプラザ」は、ケージ内で飼育されているトキを間近に観ることができる人気スポットです。
- ・野生トキ観察・展望施設「トキのテラス」は、自然界に暮らすトキを観察できる施設で、国中平野や大佐渡山地も一望できます。

ご か や ま
五箇山ライトアップ
なんとし
【富山県南砺市】

春 秋
夏 冬

イベントタイプ：ライトアップ

一般参加：可



「ライトアップされた風景：菅沼集落」



「ライトアップされた風景：相倉集落」

「五箇山ライトアップ」は、南砺市の世界遺産「五箇山の合掌造り集落」をライトで彩るイルミネーションイベントで、四季を通して毎年実施しています。「相倉（あいのくら）合掌造り集落」と「菅沼（すがぬま）合掌造り集落」は、1995年に隣接している岐阜県の白川郷とともに「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として世界遺産（文化遺産）に登録されている観光スポットです。冬の季節のライトアップ景観は、集落の歴史とともに、幻想的な日本の原風景をいっそう感じることができます。

○アクセス

東海北陸自動車道五箇山ICから車で約1分（菅沼集落）、約20分（相倉集落）

○問合せ先

南砺市観光協会 五箇山総合案内所

☎ 0763-66-2468

○参考URL: <https://www.gokayama-info.jp/>



「ライトアップされた風景：菅沼集落」

○開催時期：2月,8月,9月,11月（相倉集落）、2月～3月、5月下旬～6月上旬（菅沼集落）

○開催場所：南砺市相倉集落及び菅沼集落

※新型コロナウイルスの影響で中止になる場合があります。

・五箇山に伝わる悲恋物語「お小夜伝説」の「お小夜」を偲び、小原地区に「民謡の里」が公園整備されています。公園内では、せせらぎと水車の音とともに「お小夜節」などの五箇山民謡が流れています。

・五箇山地域では、古くから産業のひとつとして、「楮（こうぞ）」を原料にした和紙作りが行われてきました。昭和63年には「越中和紙」として国の伝統的工芸品に指定されました。葉書や栞（しおり）などを作る「五箇山和紙体験」は、誰もが夢中になる楽しさがあります。

あぜのきらめき【石川県輪島市】

わじまし

イベントタイプ：ライトアップ

一般参加：可



「ライトアップされた白米千枚田：ゴールド色のLED」



「幻想的な景観：ブルー色のLED」



「幻想的な景観：グリーン色のLED」

「あぜのきらめき」は、秋から翌年春にかけて、輪島市の国指定名勝「白米千枚田」をライトで彩るイルミネーションイベントで、2011年から毎年実施しています。白米千枚田は、世界農業遺産「石川県能登地域（能登の里山里海）」の代表的な棚田景観です。

夜間は、2万5千個の発光ダイオード（LED）がピンク、グリーン、ゴールド、ブルーに変化しながら、約1,000枚の美しい棚田を幻想的に照らし出します。太陽光パネルで充電され、日没を感知して自動でLEDが点灯し、約4時間後に消灯します（見ごろは19時～20時）。

○アクセス

旧輪島駅跡の「道の駅輪島（ふらっと訪夢）」より専用バスで約20分

○問合せ先

輪島市産業部観光課

☎ 0768-23-1146

○参考URL：https://wajima-senmaida.jp/



「白米千枚田」

・開催時期：10月～3月

・開催場所：白米千枚田

（所在：輪島市白米町99-5）

・平安時代から千年以上の歴史がある輪島朝市は、岐阜県の高山朝市、千葉県の勝浦朝市とともに、日本三大朝市の一つに数えられています。新鮮な海産物をはじめ干物や野菜、民芸品などを扱う200軒の露店が、朝市通りの両側に所狭しと並んでいます。

・天然ふぐの水揚げが日本一の輪島市では、市内の港で水揚げされたフグを「輪島ふぐ」として商標登録し、市内飲食店においてリーズナブルな料金で提供されています。

越前海岸水仙まつり

【福井県福井市、越前町及び南越前町】

冬

イベントタイプ：花木等鑑賞

一般参加：可



「越前海岸の水仙」



「越前水仙」



「水仙娘による越前水仙の無料配付」

越前海岸は、日本水仙の群生地として知られ、淡路島（兵庫県）、南房総（千葉県）と合わせて「日本水仙三大群生地」の一つに数えられ、その面積は約70ヘクタールで日本最大を誇ります。この越前海岸を舞台に開催される「越前海岸水仙まつり」は、開催45回を超える伝統あるイベントとなっています。期間中、越前海岸沿いを中心に物産品即売会や水仙娘による越前水仙無料配付などの各種イベントが開催されます。

○アクセス

車で北陸自動車道敦賀ICから国道305号経由で約60分

○問合せ先

越前海岸観光協会連合会 ☎ 0778-37-1234

○参考URL:<https://www.town-echizen.jp/>

- ・開催時期：12月中旬～1月中旬
- ・開催場所：越前海岸各イベント会場（越前町、福井市、南越前町）



「越前岬水仙ランド：水仙の館」

・「四季の大自然」をテーマとする越前岬水仙ランドの中心には、ガーデンクラブハウス「水仙の館」が建っています。周辺にはギリシャ神話のナルシスを意識した「ナルシスの丘」や豪快なパノラマを誇る「展望ゾーン」、水仙郷を見ながら散策できる「水仙ゾーン」など見所がいっぱいです。

イベントタイプ：
景観鑑賞、かかしアート

一般参加：可



「2019年度作品：ラグビーW杯」



「2019年度作品：竜電関小結昇進」



「2017年度作品：男子体操シライ/グエン」

- ・開催時期：
8月中旬～9月中旬（かかし祭り）
7月（かかし作り教室）
- ・開催場所：
山梨県韮崎市円野町下円井1193-3

韮崎市円野町に広がるのどかな田園地帯で行われる「かかし祭り」。

その年の世相を反映したユニークな「かかし」の作品が数多く出展され見に来た人を楽しませてくれます。お祭りに併せて「かかし作り教室」も開催され、一般の方も参加することができます。

○ アクセス

（公共交通機関）韮崎駅バスターミナルから韮崎市民バス円野線に乗車、穴山橋バス停下車から徒歩約5分（自動車）中央自動車道 韮崎 I Cから約25分

○ 問合せ先

・円野町かかし祭り実行委員会
☎ 0551-27-2105（円野公民館内）



「韮崎大村美術館」

< 韮崎大村美術館／白山温泉／上小路（蕎麦・おざら） >

大村智博士が蒐集した美術品を展示している美術館です。日本を代表する女流作家の作品を中心に優れた芸術を鑑賞することができます。また併設されている白山温泉・上小路では温泉と食事が堪能できます。

イベントタイプ：ライトアップ

一般参加：可



「水田をろうソクの灯りが照らし出す幻想的な光景」



「絵付けされたガラス瓶」

○ アクセス

（公共交通機関）甲斐市市民バス「鳥居坂上バス停」より徒歩約10分※運行日、時間等をご確認ください

（自動車）竜王駅から車で約15分。駐車場は甲斐敷島梅の里クラインガルテン、駐車場から棚田までは徒歩約10分

○ 問合せ先

甲斐市役所農林振興課

☎ 055-278-1707

NPO法人敷島棚田等農耕文化保存協会が中心となり毎年6月に亀沢地内の御領(ごりょう)棚田で開催され、例年約300の方が訪れており、近隣の小学生にろうソクを灯すガラス瓶に絵付けをしてもらったりと地域に根付いたイベントとして広がりを見せています。

あぜ道に並べられた約800本のろうソクに火が灯され、田植えを終えたばかりで水が張られた水面をろうソクの灯が照らし出す幻想的な光景は壮観です。

南アルプスの山々と眼下に広がる甲府盆地の夜景に囲まれた幻想的な景色をお楽しみ頂けますので、ぜひお越し下さい。

- ・開催時期：6月
- ・開催場所：亀沢地内の御領(ごりょう)棚田
(住所：甲斐市吉沢1144番地周辺)



<甲斐敷島梅の里クラインガルテン>

季節の地元野菜や加工品、ワイン、手芸品等の販売をしています。また富士山を眺めながらバーベキューもお楽しみいただけます。詳細はゆうのう敷島ホームページをご覧ください。
(<http://www.youknowsksm.com>)

イベントタイプ：キャンプ

一般参加：可



「絶景の中でゆっくりとキャンプを楽しめます」

「段々に並ぶテントは舞台のようにどこからでもベストポジション」

・開催時期：

① 4月、11月 棚田CAMPイベント

② 通年 1日1組 棚田CAMP

・開催場所：上田市 稲倉の棚田

(住所：長野県上田市殿城2889-1)

(稲倉の里農村交流館)

○ アクセス(自動車)

上信越自動車道 東部湯の丸ICから
車で約16分(8km) 駐車場あり

○ 問合せ先

・稲倉の棚田保全委員会

☎：0268-75-4808

FAX：0268-75-4807

○ 参考URL

<https://inaguranotanada.jimdofree.com/>

稲倉の棚田は、地域の方々の熱心な保全活動により、棚田が復活し徐々に共感者も増えてきましたが、まだまだ営農だけで持続可能な状況ではありません。棚田の魅力を未来につなげるためには、農業の生産性とは異なる面でのアクションが必要と考えました。それが「棚田CAMP」です。段々と連なる棚田の中でキャンプを堪能いただき、保全活動につなげます。

棚田の新たな可能性を生み出す試みは、様々なメディアにも取り上げられ、先進的なモデルとして話題となっています。



徒歩圏内には、令和3年4月1日に開園する「信州上田クラインガルテン眺望の郷 岩清水」があります。遠方には北アルプス、眼下には上田市街地を望むことができる宿泊施設付きの農園で、家庭菜園やガーデニングを楽しめます。

宿泊施設には、薪ストーブが設置されており、一年を通じて田舎暮らしが満喫できるとともに、農園の利用者は稲倉の棚田での各種農作業体験にも参加できます。

詳しくは、上田市ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/nosanmarket/>)



「幻想的な雰囲気の中、打ち上げられる花火」



「田の神様灯火祭りの幻想的な光景」



「提灯をもち浴衣姿で棚田をめぐる提灯行列」



「ライトアップされた雪景色」

写真提供：NPO法人恵那市坂折棚田保存会

○ アクセス

- ・JR中央線恵那駅から東濃鉄道バスで25分、野瀬バス停下車。徒歩約30分。（当日は恵那駅よりシャトルバス運行有）
- ・中央自動車道恵那ICから車で約20分（特設駐車場からシャトルバス運行有）

○ 問い合わせ先

NPO法人恵那市坂折棚田保存会

☎ 0573-23-2032

参考URL: <https://sakaori-tanada.com>

「坂折棚田」は、恵那市最北部笠置山の西北麓400～600mの標高に位置し、江戸時代初期から約400年の歴史を誇る石積み棚田です。

「田の神様 灯火祭り」行事は、田の神様に田植え終了の報告をして、豊作祈願と先祖への感謝を祈る坂折棚田のお祭りです。約350枚の棚田に夕方になると約1,000個のキャンドル（ろうそく）が灯され、日が暮れると、棚田の一角にまつられた「田の神」から手作りの提灯をもった浴衣姿の人達の提灯行列が出発し、幻想的な雰囲気の中、棚田をめぐる。

また、祭りを主催するNPO法人恵那市坂折棚田保存会は、新たな取り組みとして、農閑期の棚田に日没後LEDライトの点灯イルミネーション（令和2年度は12月～2月約3時間2,000基）も始めています。

・開催時期：毎年6月第1土曜日

（※令和3年は新型コロナ感染防止対策として開催されない場合があります。）

・開催場所：坂折棚田（住所：岐阜県恵那市中野方町）

「なかのほう不動の滝直売所」は、恵那市中野方町の生産者が運営する農産物直売所で、中央自動車道恵那ICから県道68号線を北西に車で約15分のところにあります。減農薬で作る旬の野菜や漬物などの特産品が販売されており、併設されている食事処では、地元の野菜、棚田米を使った食事・弁当を提供しています。すぐそばには、笠置山から流れてくる清らかで澄んだ水が上下2段に分かれて流れる「不動の滝」、ほとりに不動尊がまつられており、多くの参拝客が訪れます。